

今の自分と未来の自分と

さいたま市教員等資質向上指標
(キャリアnavi)【教諭・主幹教諭】

キャリアステージ	キャリア段階			
	採用時	基礎形成期(1年~5年)	キャリア段階Ⅱ 伸長期(6年~15年)	キャリア段階Ⅲ 充実期(16年~)
求められる資質	教育に対する知見を深め、基礎を形成する。	組織の一員として教育活動を展開し、教員としての基礎・基本を身に付ける。	組織運営に参画したり実践的な専門性を高めたりする。	組織運営を推進したり、模範となる実践を展開したりする。

さいたま市が求める教師像：「豊かな人間性と社会性」「強い使命感と教育への情熱」「幅広い教養と実践的な専門性」を備えた常に学び続ける教師	教諭に必要な素養	<p>土台となる資質</p> <p>新しい時代における教育の意義や役割の理解、法令を遵守すること及び教育的愛情をもって教育活動を展開することの重要性を理解している。</p>	<p>「令和の日本型学校教育」を踏まえた新しい時代における教育、学校及び教職の意義や社会的役割・服務等を自覚するとともに、常に学び続けようとしている。</p> <p>・自らの働き方を振り返り、日々の生活の質や教職人生を豊かにしている。</p> <p>・教育的愛情や人権意識をもち、円滑なコミュニケーションにより、良好な人間関係を構築している。</p>	<p>学校教育目標を踏まえた学級経営方針を明確にするとともに、組織の一員として役割を自覚し、他の教職員と協働して教育活動を展開している。</p>	<p>学年主任や教科主任、分掌主任として、自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員との協力が関わりを通じて学校運営を推進・改善している。</p>	<p>自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員と協力するとともに、業務改善を意識した環境づくりを支援するなど、学校運営の推進・改善に向けた指導的役割を担っている。</p>
	危機管理	危機管理の重要性、危機発生時の迅速な行動について理解している。	他の教職員からの指導・助言を受けながら、危機の未然防止、迅速な対応を行っている。	他の教職員と連携し、危機の未然防止、迅速な対応を行っている。	危機の未然防止、迅速な対応、再発防止を組織的に推進するとともに、指導的役割を担っている。	
	連携・協働	家庭、地域との連携の重要性を理解している。	「地域とともにある学校づくり」を理解し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働している。	「地域とともにある学校づくり」を目指し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働している。	「地域とともにある学校づくり」を推進し、校内外の関係者と連携・協働した活動を企画・立案することができる。	
	授業力	学習者主体の学びを展開するために、必要となる基礎的なスキルを獲得している。	児童生徒の実態を踏まえ、効果的にICTを活用して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うなど、学習者主体の学びを展開している。	学校が目指す児童生徒像を踏まえ、効果的にICTを活用して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うなど、学習者主体の学びを展開している。	学校が目指す児童生徒像を踏まえ、効果的にICTを活用して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うなど、学習者主体の学びを展開するとともに、指導的役割を担っている。	
学習指導	授業デザイン	授業設計・実践・評価・改善等の意義を理解している。	児童生徒の興味・関心を引き出す教材研究や、他の教師と協働した授業研究などを行いながら、授業設計・実践・評価・改善等を行っている。	児童生徒の実態に応じた授業設計・実践・評価・改善を推進するとともに、教科等横断的な視点や、人的・物的な体制を確保するなど、教育課程を改善している。	効果的な授業設計・実践・評価・改善等について後進を育成するとともに、学校が目指す児童生徒像を踏まえた教育課程の編成、実施及び改善にあたり、指導的な役割を担っている。	
	各教科等の専門性	各教科等の授業展開に必要な基礎的な知識を獲得している。	各教科等の特質に応じ、資質・能力をばくくむために必要となる専門的知識を身に付けている。	各教科等の特質に応じた資質・能力をばくくむために必要となる専門性を向上させている。	各教科等の特質に応じた資質・能力をばくくむために必要となる専門性を高め、後進の指導に役立てている。	
	児童生徒理解	児童生徒理解の意義と重要性を理解している。	児童生徒の権利を理解し、一人ひとりに受容的かつ共感的に働きかけるとともに、他の教職員等と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。	児童生徒の権利を理解し、一人ひとりの特性や心身の状況に応じた柔軟な働きかけを行うとともに、校内外の関係者と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。	校内外の関係者と連携したチームによる支援体制をつくるとともに、児童生徒の権利の理解に基づいた、よさや可能性を伸ばす成長・発達への支援について、後進の育成をしている。	
特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	学級経営	学級経営の意義と重要性を理解している。	共感的な人間関係をつくり、一人ひとりが自ら考え、選択し、決定できる機会を提供する集団づくりを行っている。	学校教育目標の実現を目指し、自己指導能力の獲得に向け、意図的・計画的・継続的な学級経営や学年経営を推進している。	学校教育目標の実現を目指し、自己指導能力の獲得に向けた意図的・計画的・継続的な学級経営や学年経営を推進するとともに、後進の育成をしている。	
	ICT活用	学校におけるICT活用の意義や活用法、情報活用能力育成の重要性を理解し、基本的なスキルを獲得している。	授業や校務等にICTを効果的に活用するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成している。	学校が目指す児童生徒像を踏まえ、授業や校務等においてICTを効果的に活用するとともに、児童生徒の情報活用能力の育成を推進している。	授業観の転換や学校組織文化の変革を見据え、授業や校務等におけるICTの効果的な活用や児童生徒の情報活用能力の育成について探究し、校内外に発信している。	
	教育データ活用	「個別最適な学び」と「探究的な学び」の実現に向け、児童生徒の学習の改善を図るため、教育データを適切に活用する意義と重要性を理解している。	子どもと向き合うエネルギーを創出し、「個別最適な学び」と「探究的な学び」の実現を図るために、教育データを適切に活用している。			

主幹教諭としてさらに必要な資質	ビジョンの具現化	校長の示す学校経営ビジョンを実現するために、組織の調整等を行い、適切な指導・助言をしている。
	教育課程の編成・実施及び評価・改善	学校教育目標を実現するための教育課程を編成し、校内の体制を整え、教育課程の実施及び評価・改善について、適切な指導・助言をしている。
	人材育成	教職員の能力や適性を把握し、キャリアステージに応じた指導・育成を適切に行っている。